

野生イノシシ対策

問 野生イノシシの根絶に向けた具体的な方策は。

答 田原市猟友会へ委託し、イノシシ用の箱わな、囲いわな、くくりわなを使用して捕獲し、個体数の減少に取り組んでいく。

(3/12 予算決算委員会)

プレミアム付き商品券

問 商品券の販売対象者は平成31年度の住民税非課税者と3歳未満の子どもがいる世帯主となっているが、高校生や大学生がいる世帯の方が経済的負担は大きい。販売対象を拡大してはどうか。

答 今回のプレミアム付き商品券は、消費税率の引き上げに伴い、低所得者、子育て世帯の消費に与える影響の緩和と地域における消費喚起を目的としている国の制度。対象者を拡大することは可能だが、市での予算措置が必要となる。商工会などの意見を参考にした結果、今回は販売対象を拡大しないこととした。

(3/11 予算決算委員会)

温泉資源の活用(温泉掘削)

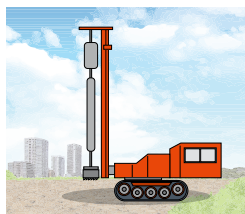
問 市として温泉資源をどのように活用しているのか。

答 宿泊事業者から、温泉だけで客が来るとは思っていないが、温泉ではないことに対してマイナスのイメージを持たれることが多いと聞いている。事業者たちが温泉を活用して自分たちの経営を高めていく思いが必要であるので、商工会とともにサポートしていく。

問 温泉が確実に出るか、再調査してみてもどうか。

答 地表面での地質の状況、電磁波による調査、既存の温泉の状況などからの推察といった掘削をせずにける調査は、既にひととおり行い、温泉湧出の可能性は高いという調査結果が出ている。調査目的の掘削と温泉を掘るための掘削は実質的な内容は変わらない。二度掘削するよりは、いきなり掘削する方が効率性はある。

(3/11 予算決算委員会)



(仮称) 弥八島海浜公園の民間活用

問 (仮称) 弥八島海浜公園のプロポーザルの概要は。

答 平成30年度に行った※サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、庁内関係各課で検討を行い、プロポーザル方式の事業提案で優先交渉する事業者を選定していく。

(3/13 予算決算委員会)

※サウンディング型市場調査

自治体が行う官民連携事業において、公募前の事業発案段階や事業化検討段階で、自治体が民間事業者に見解や提案を求め、民間事業者との直接対話を通じて、市場性の有無や実現可能性の把握、アイデアの収集などを行うもの。

空き家等解体促進事業補助金

問 補助金の概要は。

答 不良住宅である空き家と敷地内の塀などの工作物すべてを撤去し、更地にする工事費の一部を補助するもの。

問 対象となる空き家は。

答 1年以上使用されていない個人が所有する空き家で、所有権以外の権利が設定されていない建物。不良住宅かどうかは判断基準に基づいて判断する。

(3/13 予算決算委員会)

小学校での外国語教育

問 市内全小学校での実施に向けた取り組みは。

答 平成32年度の完全実施に向け、市内全小学校で同じレベルの外国語教育ができるように、業務委託による英語教育プログラムの開発を現在進めている。小学校5・6年生では外国語科、3・4年生では外国語活動として、聞くことを中心に捉えた田原市独自の外国語学習に取り組んでいく。

(3/13 予算決算委員会)

高等学校等バス通学費助成金

問 助成金制度創設の経緯は。

答 市内3高校で実施した公共交通に関するアンケート調査において、公共交通に関する改善希望で最も多かった回答はバス運賃の値下げだった。バス運賃が高く、家計の大きな負担となっていることなどの状況を踏まえ、高校に通う生徒の教育環境や子育て支援、バスの利用促進などを総合的に検討し、通学費用の負担を軽減する補助制度を創設するもの。

(3/13 予算決算委員会)